



横浜スマートコミュニティ

横浜スマートコミュニティ「スマートセル」竣工

～次世代コミュニティモデルとなる研究・実験ハウス「スマートセル」の運用を開始～

横浜スマートコミュニティ（代表 有馬仁志）、2013年4月26日：2011年6月に発足した横浜スマートコミュニティは、活動の一つである、スマートセルプロジェクトとして次世代コミュニティモデルとなる研究・実験ハウス「スマートセル」の運用を開始した。

スマートセルプロジェクトは、暮らす人を元気にする自然環境や芸術・文化をはぐくみ、食やヘルスケア、さらには自然環境に負担をかけないエネルギーや循環型の社会システムをめざしたコミュニティモデルを追求する研究・実証の場を建設することを目的としている。横浜スマートコミュニティに賛同する企業・団体が、協賛プログラムを通じてプロジェクトに参加し、資金、建築資材、機器などを持ち寄って未来につながるモデルハウスを建設する大型プロジェクトとなる。また、プロジェクトの効果として横浜市の経済発展に寄与することもゴールとしている。

横浜スマートコミュニティ代表の有馬は、「環境、建築、家具、家電、放送、流通、ヘルスケア、食、エネルギー機器、芸術、文化などの幅広い分野から広くコンセプトを伝え、魅力的なものにしたい」としている。プロジェクトの成果を広く国内や海外へ発信し、未来に向けたニーズの把握、課題を解決する方法を提案することにより、市場を創造していくビジネスモデルが発展することも期待している。

スマートセルプロジェクト概要

目的： 横浜スマートコミュニティのコンセプトを説明するモデルハウスの建設

場所： tvkハウジングプラザ横浜 住宅展示場内 土地の広さ100坪。

東海道線沿線から見える区画に建設。

建築物： スマートセル・メイン棟

2階建て、約60㎡（18坪、36畳程度）

1階 展示スペース：約40㎡（12坪、24畳程度）

インフォメーション、ビジョン、コンセプト展示

2階 展示スペース：約20㎡（6坪、12畳程度）

参加企業のスマート技術展示・PR（製品、パンフレット、ビデオ）



スマートセルプロジェクトのコンセプト

横浜スマートコミュニティの「本当に豊かで充実した社会生活のためには、自然に学ぶことが重要である」との理念から、植物細胞に注目し、その仕組みを家に応用する自律的で安定して連携できる家の構造とした。植物細胞のコンセプトをもとに家を設計し、自然や生物に習った未来につながる世界観を表現する建物である。研究実験施設としてメイン棟となる一棟目を建設した。未来のコミュニ

ティに必要な要件は何かを研究し、コミュニティとしての家の構造、住み方、家の連携とはなどを実証し話し合いをする場として利用する。2棟目、3棟目として敷地内にヘルスケアを中心とした住宅、小規模の植物生産のために建家を建設する計画で、エネルギーと情報の連携・仕組みを研究する予定である。メイン棟は、2階建(約60㎡)で1階(約40㎡)はインフォメーション、コンセプト展示スペース、2階(約20㎡)は、参加企業のスマート技術展示・PR(製品、パンフレット、ビデオ)を主に行う。

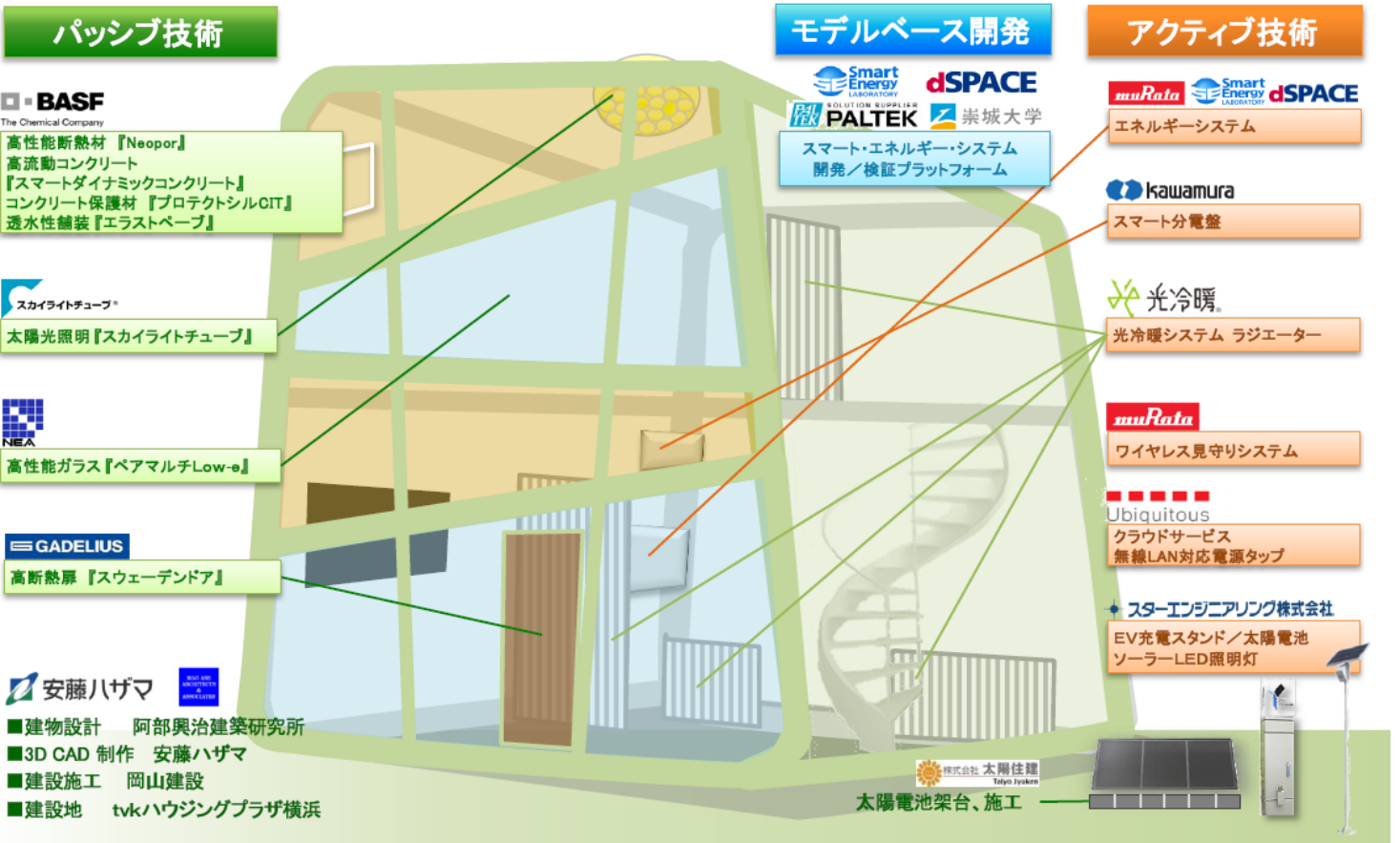
本プロジェクトの構成は下記の通り。

支援団体

横浜市
株式会社テレビ神奈川

プロジェクト参画企業 (50音順)

Anny Group (光冷暖システム)
株式会社 iTest
有限会社阿部興治建築研究所
株式会社安藤・間
株式会社井之商
ガデリウス・インダストリー株式会社
河村電器産業株式会社
スターエンジニアリング株式会社
株式会社スマートエナジー研究所
株式会社太陽住建
dSPACE Japan 株式会社
日本板硝子環境アメニティ株式会社
株式会社PALTEK
BASFジャパン株式会社
株式会社村田製作所
株式会社ユニバーサルホーム
株式会社ユビキタス



パッシブ技術

パッシブとはアクティブ（能動的）の反対語で“受動的”の意。狭義として断熱や自然通風など、動力を用いない自然を活かした手法により、居住性の維持に必要なエネルギー量を抑制する手法を指すが、広義には低環境負荷ライフスタイルを含む、**地域特性**に応じ積極的に環境と融和する事で消費エネルギー量を抑制するアプローチを意味する。

アクティブ技術

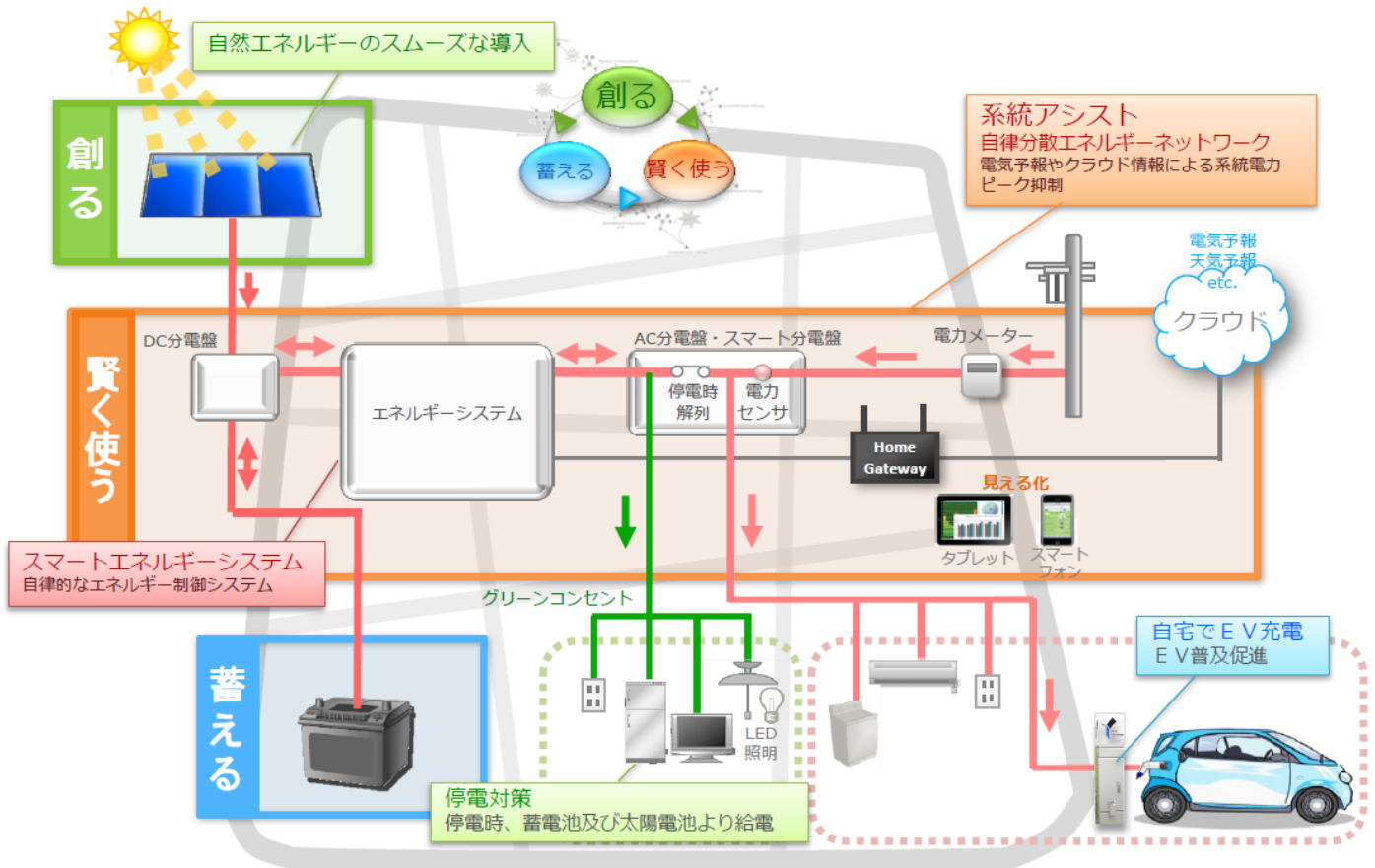
アクティブ（能動的）技術とは、照度や温湿度などの建築環境や様々な居住活動を維持するにあたり、従来と比較して少ないエネルギー消費量でその機能を実現するアプローチを指す。高効率装置や省電力機器による他、**エネルギーを創り出したり、柔軟にエネルギーを融通**する事で消費エネルギー量を抑制する手法を含む。

モデルベース開発

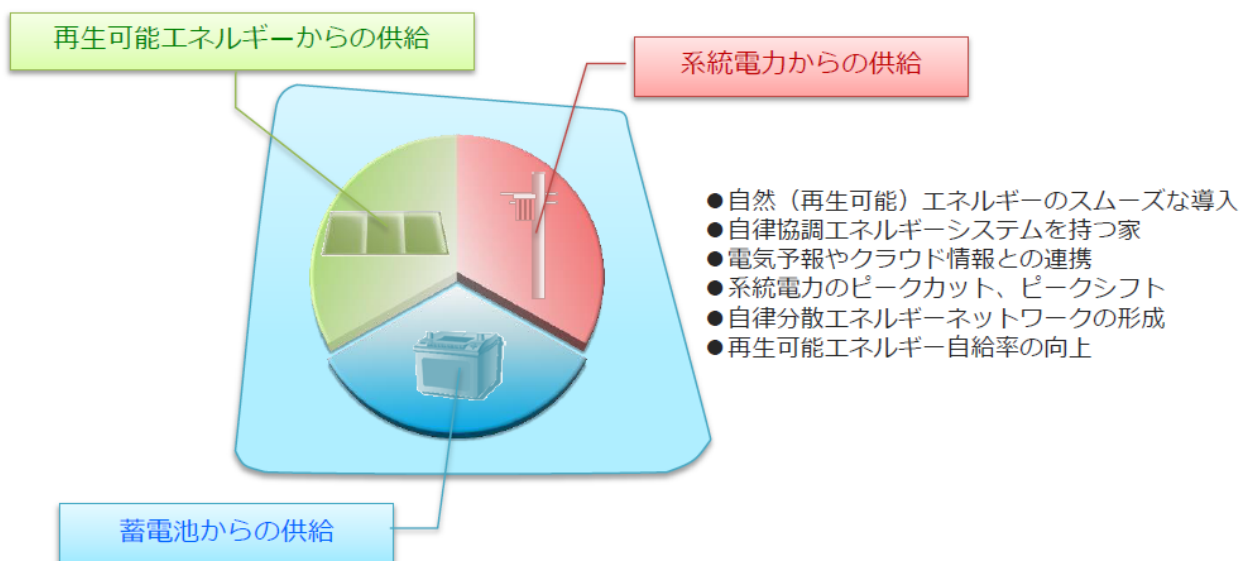
自動車や航空機などの様に、複雑でありながらも安心・安全が求められるシステムの開発に用いられる開発手法である。最新のエネルギーシステム開発にも応用されるようになり、**環境負荷の少ないエネルギーシステムの開発**に役立っている。

●自律協調エネルギーシステム

システム構想：スマートエナジー研究所



●分散電源と系統電源の(有機的)協調へ



【横浜スマートコミュニティについて】

「本当に豊かで充実した社会生活のためには、自然に学ぶことが重要である」との理念に共鳴、賛同した企業・団体が集まり、自然エネルギーを実生活に取り入れ、真に有効活用できる技術を確立すべく『横浜スマートコミュニティ』が2011年6月に発足。

自然と人間を慈しみ、科学技術は「支援する」という立場に立つ活動をモットーに以下の技術研究を行っている。

- ・自然エネルギーの有効利用
- ・コミュニティの停電対策と系統の負荷軽減
- ・ハウス間のエネルギーと情報の連携
- ・自然と共生した自律的で循環型のコンパクトなコミュニティを創るための研究
- ・業界、業種を超えた未来のビジョン作り
- ・未来へ向かって進化しつづけることで「100年」先まで続くプロジェクト

詳細: <http://www.smartenergy.co.jp/yokohama/>

1: ニュースリリースに関してのお問い合わせ

dSPACE Japan 株式会社

担当者 : 広報担当 増原久子
メールアドレス : smart_project@dspace.jp
住所 : 〒140-0001 東京都品川区北品川 4-7-35
御殿山トラストタワー 10階
電話 : 03-5798-5474
FAX : 03-5798-5464

2: 横浜スマートコミュニティに関してのお問い合わせ

事務局 : 株式会社PALTEK内
事務局コーディネーター 見城江美子
メールアドレス : ysc-jimukyoku@paltek.co.jp
住所 : 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-3-12
新横浜スクエアビル 6F
電話 : 045-477-2005
FAX : 045-477-2012